

# 平成29年度 障害者支援施設光陽荘事業報告

## 第1 概況

光陽荘は、社会福祉法の福祉サービスの基本的理念にいう個人の尊厳の保持を旨として、利用者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、利用者のニーズも踏まえた良質かつ適切なサービスの提供に努めている。

### 1 利用者の状況

近年入退所の頻度が増している中、29年度においても退所者3名、入所者5名があった。退所者の内2名は入院先から療養型の施設に移行した。もう1名は病状の悪化からご自宅で看取りたいとのご家族の意向で退所された。いずれもこれまでになかった退所理由であった。

重度・高齢化が進む一方で、比較的自立度の高い活発な利用者も入所してくるので、全体としては活発な若年層の利用者の割合が増えてきた。

### 2 利用者満足度

浴室の全面改修により入浴の質が高まり利用者に喜ばれた。活動や行事については、創意工夫をして利用者の笑顔を多く引き出すことができた。

個別の支援においても、個々人のニーズにきめ細かく応え満足や安心が得られた。

5名の新規入所者については、施設に慣れていただくことから始め、順次活動参加等を支援し安心や満足が得られてきている。入退所に伴う人の入替りは少なからず生活に影響する環境因子となるため、入所者全員の安心・満足が得られるよう心身の状態をきめ細かく観察し支援するよう努めた。

一方マイナスなこととして、インフルエンザの集団発生があり、マニュアルに従い活動等の縮小・中止等を徹底して行ったことは利用者にとって不自由やストレスをかけた。

### 3 権利擁護、健康支援・安心安全支援

#### ① 権利擁護（虐待防止・身体拘束解消）

委員会を中心に取り組みを実施した。虐待防止については、アンケートを行い虐待の芽となることなどを分析し職員で共有した。身体拘束については、同意があっても緊急やむを得ない状況であったかを点検し慎重に行う意識を高めた。これらの権利擁護についての取り組みは、意思決定支援なども鑑み更に取組を強化していく必要がある。

#### ② 健康支援

利用者の健康状況を常に掌握し、適切な支援を行うとともに、身体状況の変化や医療上の変化を的確に捉え、嘱託医、協力医療機関の協力を得て、疾病の予防と早期対応に努めた。感染症については、1月にインフルエンザA型の集団感染があり感染対策の強化徹底を実施した。また、長期入院があったことや、健康診断では予測ができない疾病が発症するなどもあった。

#### ③ 安心安全支援

6月に入所された利用者が9月に一時所在不明となり、警察や近隣にも協力を得て捜索する事案があった。2時間後に施設横の茶畑にて無事発見できた。終息後の対応として、再発防止対策を即実施し、「利用者所在不明（行方不明）発生時対応マニュアル」を策定した。

また、防犯面でも不審者から利用者・職員を守るため、「防犯管理マニュアル<不審者侵入防止及び侵入時の対応>」を策定した。

大規模な東海・東南海・南海トラフ地震に備えた防災対策について、前年度より強化を進めていたが、防災用品の買替えおよび有効な防災用品の新規購入が計画通り完了した。

## 第2 全体の状況

### 1 利用状況

施設入所・生活介護の利用率について入退所に伴う退所から入所までの空床日数が多くなっていることと、長期入院者がいたことで前年より下がっている。短期入所についても、感染対策中の予約を中止したことが若干影響し減となっている。グループホームは利用率100%である。

年度	施設入所		生活介護		短期入所		グループホーム	
	定員	利用率	定員	利用率	定員	利用率	定員	利用率
H28年度	50	98.3%	50	111.5%	4	42.7%	5	99.9%
H29年度	50	97.5%	50	110.2%	4	39.9%	5	100.0%

### 2 経営状況

拠点区分光陽荘（施設入所、生活介護、短期入所、共同生活介護、特定相談支援事業及び、法人本部）の介護給付費等の障害福祉サービス等事業収入は349,160千円で、その他収入を加えた収入合計は351,781千円となり、前年度3,999千円減である。理由は、退所から入所までの空床及び長期入院者による空床による利用率減、及び新規入所者4名の障害支援区分が低いことが主なものである。

一方、支出合計は289,242千円と、前年度に比べ2,418千円増となった。人件費が前年比2,972千円増であるが、主な理由として一時金約3,800千円が前年にはなかったためである。

他拠点への繰入金費用（支出）として、喜久の園に6,900千円・内田デイサービスセンターに5,200千円、計12,100千円がある。事業活動の収支差額（サービス活動増減差額）としては、前年度より8,220千円減ながら、45,110千円の増となっており、本来事業での採算性は当年度も健全な経営が出来ている。

大規模な工事として浴室改修を実施し、その工事に伴う費用については、導入した機械浴槽等も含め全体で約35,000千円の支出があるが、「職場定着支援助成金」3,000千円の助成金収入を得た。<29年度の数値はいずれも決算見込み。以下、同じ。>

<光陽荘（拠点区分事業活動による収支）>

収入

(千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減
障害福祉サービス等事業収入	349,160	352,711	△3,551
その他の収入	2,622	3,069	△447
計	351,782	355,780	△3,998

支出

(千円)

区 分	平成29年度	平成28年度	増 減
人 件 費	206,130	203,158	2,972
事務費・事業費等	83,112	83,666	△554
計	289,242	286,824	2,418

### 3 職員の状況

生活介護サービス費における人員配置体制加算で最も高い区分である「1.7:1」及び加算要件の加配分を満たす職員配置基準の確保に努めた。

平成29年度末の職員数は56人で、そのうち介護職員は常勤27人と非常勤15人であり常勤換算で35.1人である。看護職員等は常勤1名と非常勤5名であり常勤換算では4.6人である。前年同期には育児休業中であった正規職員2名が復帰していることもあり、3人(常勤換算2.1人)の増となっている。

(平成30年3月31日現在) (人)

区 分	事 務 室		介護職員	医務室	調理	計
職 名	施設長 事務長 介護部長	介護部主幹 生活相談員 事務室員	主任 副主任 一般	看護職員 歯科衛生士	管理 栄養士	
正 規	3	3	27	1	1	35
非正規	0	1.5	15	4.5	0	21
計	3 (3.0)	4.5 (4.0)	42 (35.1)	5.5 (4.6)	1 (1)	56 (47.7)
28年同期	3 (3.0)	4.5 (4.0)	39 (33.1)	5.5 (4.5)	1 (1)	53 (45.6)

・医務室兼事務室職員1名各0.5人カウント

・育休職員(介護職員、正規1名・非正規2名)は含まない

### 4 施設整備等の状況

完成時期	整備等の内容	工事費等
4月	廊下壁改修	864,000円
8月	居室空調機入替(10台)	2,430,000円
	事務室空調機入替	600,480円
9月	浴室改修工事	27,075,600円
	浴室改修工事設計監理業務委託	993,600円
	機械浴槽2台及び周辺機器(ストレッチャー・シャワーチェア等)	7,135,560円
3月	タイムレコーダー(本部購入 勤怠管理システム)	648,000円

### 5 その他

#### (1) 職員研修(資料 28・29)

研修への積極的参加を促し、研修結果を職員全体会議等の場において報告を求め、広く職員の資質の向上及び利用者支援・サービスの充実に資することができた。外部研修や研究大会についてもできる限り積極的に参加し、多くの職員が知識や技術を深めることができた。

また、全職員（夜勤者以外）が受講できるよう全国盲重複障害者福祉施設研究協議会の会長を招き職員研修を実施したことは有意義であった。

## （２）会議の開催

全職員に対する施設の基本方針及び重要案件の確認、周知並びに職員研修の場として、四半期ごとに職員全体会議を開催し、円滑な施設運営と支援能力の向上のために資することができた。日常的・短期的な課題、行事等に関する協議、及び適切な利用者サービスや効率的な施設運営等のために、月１回管理運営会議を開催した。なお、介護部においては、支援方針の決定及び支援方法等の意思統一のために主任副主任会議を月１回・ケアの質の向上や支援方法の周知等のためにグループ毎のケアワーカー会議を月１回・個々の利用者への支援内容については、サービス管理責任者が個別支援計画の作成等のためのケアプラン会議（支援会議）を定期または随時開催した。

## （３）災害対策（資料 ２５）

① 火災、地震等の災害に備え、毎月１回利用者の避難訓練を実施するとともに、夜間の災害発生に備え、職員の緊急呼び出し訓練を実施した。また、防災用品・備蓄品の購入を２年計画で実施し完了できた。

## （４）感染症予防対策

１月にインフルエンザの集団発生があったが、１２月から３月は感染予防対策を強化実施した。利用者、職員への予防接種の実施・手指の消毒・職員はウイルス除去シート装着の義務付け・感染症対策委員会を中心とした研修の実施などを行った。インフルエンザ発生時は直ちに対策の強化・徹底をして拡大を防止した。

また、１年を通し、毎朝５分間全職員で手すり等の一斉消毒を実施している。

## （５）各種行事（資料 ２４）

利用者に文化的な充足感を味わってもらうために、季節や風習を大切に各種行事を企画し楽しく参加できるようにした。利用者が主体となるよう利用者の意見を取り入れ司会進行なども利用者に担ってもらった。

## （６）委員会（資料 ２６）

### ①衛生委員会

労働安全衛生法に基づく衛生委員会を毎月開催し、職員の健康管理及び災害防止等について協議・検討を行った。

### ②リスクマネジメント委員会

事故防止対策として、事故をデータ化し、分析や評価を行い「危険の見える化」を図り、効果的な対策を講じ事故防止に努めた。

### ③身体拘束解消委員会

基本的人権や人間の尊厳を守ることを妨げないよう、利用者の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他利用者の行動を制限する行為を行わないよう対策を行った。

### ④虐待防止委員会

利用者を虐待という権利侵害から守り、尊厳を保持しながら安定した生活を送ることができるよう、職員の意識を高める取組みを実施した。具体的にはアンケートを実施し振り返りや、気づき、標語の浸透などを行った。

#### ⑤感染症対策委員会

施設は感染症が蔓延しやすい状況にあることを認識し、感染の被害を最小限にするため、平常時から対策を実施するとともに、感染症発生時には感染の拡大防止のため迅速で適切な対応を図った。

#### ⑥その他委員会等

職員は、利用者の安全の確保、利便・快適性の向上、満足感のある施設生活の実現のためにそれぞれ担当する委員会や係の目的を達成できるよう努めた。

### 第3 部門別活動状況

#### 1 事務部門

顧問会計士及び社会保険労務士等との連携を密にし、コンプライアンス（法令遵守）とモラルの遵守を常に念頭に置き、また、法人内規則・規程の熟知を心掛け、正確かつ迅速な事務処理を行うよう努めた。

- ① 新会計基準が適正かつ円滑に実施できるよう、法人会計実務の知識の習得に努めた。また、施設間の連絡・連携を図り情報の共有に心掛けた。
- ② 管理運営会議を月1回開催し、日常的・短期的な課題、行事等への対応について協議し、適切な利用者サービス及び効率的な施設運営等に役立てた。
- ③ 予算の効率的執行が図られるよう、職種間の連携に努めた。
- ④ 顧問会計士及び社会保険労務士等との連携を密にし、コンプライアンス（法令遵守）とモラルの遵守を常に念頭に置いた。また、法人内規則・規程の熟知を心掛け正確かつ迅速な事務処理を行うよう努めた。
- ⑤ 新たに施行されたマイナンバー制度については、個人情報の保護や利用制限の徹底など適正で確実な取り扱いに努めた。
- ⑥ 障害者総合支援法請求事務や利用者負担金請求事務に関し、請求誤り、漏れが無いよう法改正や請求ソフト使用方法等の変更に的確に対応できるよう努めた。
- ⑦ 積極的にOA機器を活用し、事務の効率化に努めた。
- ⑧ 日用品、消耗品等の計画的な購入・管理に努め、コストの低減に心掛けた。
- ⑨ 施設設備、器具、備品の保守管理を徹底し、施設機能の維持に努めた。

#### 2 相談部門

相談援助や他部署との協働、預り金関係の適正な管理事務、他機関との連携、家族への連絡等、利用者の生活の質の向上に係る業務を主として実施した。

- ① サービス管理責任者を中心に、個別支援計画に基づいたサービスの実現や評価等に努めた。
- ② 個別支援計画の確実な実現に向けて介護職員を支援・指導した。
- ③ 利用者に必要な情報を適切な方法・わかりやすい表現を用いて提供し、利用者の意思を確認した。施設利用に際しては、利用者及び家族への十分な説明と情報の提供に努めた。
- ④ サービス利用に伴う各種手続き等事務代行を的確に実施した。
- ⑤ 地域の貴重な社会資源として地域のニーズに的確に応えるため、施設機能の充実及び

職員の資質の向上に努めた。

- ⑥ 他施設、関係機関、関係団体等との情報の交換及び連携に努めた。
- ⑦ 利用者預り金等の適正な管理に努めた。
- ⑧ 利用者の自己決定を尊重し、利用者がその権利を十分に理解・活用していけるように援助するとともに、意思決定能力の不十分な利用者に対して、常に最善の方法を用いて利益と権利を擁護した。
- ⑨ 利用者のプライバシーを最大限に尊重し、利用者や関係者からの情報の徴取は、業務上必要な範囲にとどめ、その秘密を保持した。
- ⑩ 利用者の援助のために利用者に関する情報を関係機関・関係職員と共有する場合、その秘密を保持するよう最善の方策を用いた。
- ⑪ 常に業務を点検、評価を行い、業務の改善に努めた。

### 3 介護部門

#### (1) 支援体制全般

各部署との連携、協力の下、利用者個々人に対しきめ細かな支援ができた。また、クラブ活動、リラクゼーション等の余暇、生きがい活動に関わる支援は、日中活動担当を中心に、グループ横断的に展開した。就労的要素のある作業創作活動では、個々の作業能力が十分活用できるよう工夫した。作業、創作活動に馴染みにくい利用者については、日常生活に楽しみや張り合いを感じてもらえるよう、ぽかぽか農園（果樹園、散歩道、畑）の活用に加え、ミュージックケア等を実施し、心身に快い刺激を与え情緒の安定を図ることができた。

また、利用者の生活や人間関係が施設の中に留まらないよう、積極的に地域に出掛け、あるいは地域の方を招いて、多くの人とコミュニケーションが図れる機会を提供した。こういった取り組みは地域交流の拡がりや光陽荘利用者に対する地域住民の理解を深めることに繋がっている。

家族と交流が図れるよう行事を工夫し、利用者や職員と楽しい時間を共有していただけた。また、必要に応じて個々の利用者の様子を伝え良好な関係の維持に努めた。

利用者一人ひとりからニーズの聞き取りを行い、サービス管理責任者がケアプランを作成するとともに、利用者懇談会等を通して、利用者の要望、意見を把握した。これらをケアワーカー会議、主任副主任会議、ケアプラン会議において話し合い合意形成を図り、利用者支援の充実に繋げた。記録管理システムの活用においても、業務の効率化、各部署での情報の共有、データの管理、集計、分析に役立てた。

#### (2) 資料編より

##### ① 苦情解決（資料 11）

苦情受付窓口を設置し、利用者からの苦情に真摯に対応するとともに、苦情解決第三者委員に対する報告の場を設け助言を受けた。

##### ② 事故防止・虐待防止（資料 18）

施設内の事故防止のため安全な動線の確保、適切な職員配置及びリスクマネジメントの徹底に努めた。身体拘束についてはご家族の同意を得たうえで緊急やむを得ない場合に限り行うこととし、極めて慎重に取り扱うことを徹底した。虐待については障害者虐待

防止法の理解と遵守を図り、虐待防止委員会において虐待に対する自己評価や意識調査を行った。

③ 職員研修（資料 28）

利用者の障害特性を理解し、より適切な支援を行うために、職員の各種研修会への参加並びに施設内研修等を積極的に推進した。施設内研修では、介護職員の勉強会の他、外部講師を招きより多くの職員が参加できた。講師については有意義な研修となるよう厳選し依頼した。新人職員にはチューター制による相談相手のいる環境を作り、モチベーションの向上と知識や技術の習得を図った。

④ 平日の活動（資料 22）

平日は作業創作活動・リラクゼーション・クラブ活動など定番の活動を自己選択（意思表示のできない利用者へは職員が気持ちをくみ取り選択）し、参加していただくとともに週末はフリータイムでのんびり自由に過ごす生活スタイルを基本とした。同時に、月単位、年単位でバラエティーに富んだ楽しみな活動を提供することで、選択肢を広げ施設の中で画一的に暮らすことがないよう工夫できた。

⑤ イベント・交流等（資料 16・17・24）

納涼祭や収穫祭など、地域の方を多く招き交流を深めた。音楽クラブや和太鼓クラブ・創作品の販売は施設外での出演・出店依頼も増え、多くのイベントに参加することができた。利用者の社会参加や地域での認知度を高めることができている。

⑥ 作業・創作活動（資料22(1)）

作業創作活動（平日の午前中）は、利用者の障害特性をふまえて、「働くこと」や「施設外交流」を意識し支援に努めた。出来上がった品物は利用者自らも販売に携わり、自分の作った小物や農作物が売れる喜びを感じ、工賃を受けることが張り合いや励みに繋がっている。

⑦ リラクゼーション（資料22(2)）

作業創作活動への参加が難しい利用者は、平日の午前中「ぼかぼか農園」に出掛け、草花や土風に触れながら散歩を楽しみ、体力増進や気分転換を図った。農園で採れたブルーベリーなどその場でもぎ取って味わうなど季節感あふれる体験の機会が提供できた。雨天時は、音楽や荘内散歩など天候にかかわらず楽しみな活動を展開している。

⑧ クラブ活動（資料22(2)）

⑨ 音楽クラブ・和太鼓クラブ・クッキングクラブ・スポレククラブ・点字クラブ・生花クラブを毎月各1回実施し、笑顔・生きがい・自己実現・地域交流に繋がる活動が提供できた。

⑩ 希望外出（資料 23）

週1回実施している外出とは別に、複数の日帰り旅行等を企画提案し、利用者が選択して参加する特別な外出について支援した。利用者は毎年楽しみにし、様々な体験をしている。

⑪ 個別支援（資料23）

希望外出の一貫であるが、予めいくつかのコースを用意した希望外出以外の外出を希望した場合や、随時必要となった利用者が希望する外出等に対して行う個別外出についても支援し喜んでいただいている。

- ⑫ その他基本的な生活支援（資料 5・6・7等）  
食事・入浴・排泄・整容等の基本的な生活並びに居住空間の掃除・整理整頓を常に心掛け、清潔で快適な生活が提供できる支援を行った。  
常に利用者の「人権」を尊重し、利用者が主体的に生きていけるよう、創意工夫をもって支援・介護を行うよう努めた。

#### 4 医務部門（資料 12・13）

- ① 利用者、職員の健康保持及び衛生管理に努めた。
- ② 利用者、職員の健康管理のため、年2回の健康診断を実施し、再検査の必要な職員に対しては嘱託医の助言の下に受診勧奨を行った。
- ③ 利用者の身体状況の変化や医療上の変化を的確に捉え、嘱託医、協力医療機関の協力を得て、疾病の予防と早期対応を図った。
- ④ 利用者が入院したときは、病院又は家族との緊密な連携の下に、利用者の支援に努めた。
- ⑤ 利用者の健康状況を常に把握し、適切な支援を行うとともに、家族に対し医療情報の積極的な提供に努めた。
- ⑥ インフルエンザワクチン等予防接種の実施並びにその他の感染症の早期発見、早期治療に努め、感染症対策を徹底した。
- ⑦ 投薬の管理等に細心の注意をもって当たった。
- ⑧ 利用者の便秘による苦痛の軽減を図るため、自然排便の習慣付けを促進し、運動、水分摂取、下剤の調節等について助言、支援を行った。
- ⑨ 嘱託内科医・精神科医指示の下、適時適切な受診を行った。
- ⑩ 地域の病院施設連絡会に参加し、利用者に対するよりよいサービスの提供のための情報の収集に努めた。
- ⑪ 口腔衛生の保持のため歯科衛生士による口腔ケアを実施するとともに、年に一度歯科検診を実施し、健康な歯の保持に努めた。

#### 5 調理部門（資料 24（3））

- ① 食を通して季節感を味わうことの出来るメニューの作成及び適温給食の提供に努めた。また、リクエスト食を取り入れ、利用者一人ひとりが自分の選択により食事を楽しむ機会を増やした。
- ② 委託業者との合同による給食会議を開催し、介護現場の意見、利用者の希望が反映できる充実した食事サービスの提供に努めた。
- ③ 美味しく食事提供ができるよう食堂内の雰囲気づくりを行った。
- ④ 嗜好調査を実施し、嗜好に沿った食事サービスの提供に努めた。
- ⑤ 医務室との連携の下、利用者の健康診断結果を踏まえて食事内容を調整した。
- ⑥ 常に衛生管理に配慮し、食中毒の未然防止を図った。
- ⑦ 栄養ケアマネジメントを行い、個々の栄養状態・身体状況に合わせたプランを作成し、健康状態の維持・向上に努めた。

## 第4 短期入所事業

利用者への支援はもちろん、介護者であるご家族の介護量の負担軽減にも役立て、在宅生活が続けられるよう、短期入所のニーズに適切に応えた。他事業所と併用して利用される方も多いため、常に情報の交換を行うなど連携を図りながら、スムーズな受け入れやよりよいサービス提供に努めた。

〔日中一時支援事業：障害者総合支援法に係る菊川市・掛川市委託事業〕

障害児（者）の日中の生活を一時的に確保する場とし、市町から委託を受け地域生活支援を行う。

平成29年度における通所希望者については、同じサービス内容の生活介護を利用してもらうことでニーズに応えられている。生活介護の要件に該当しないケースの場合は、日中一時支援の利用を考える。

## 第5 共同生活援助事業「グループホームたんぼぼ」

グループホームにおいては職員のサポートを受けながら家庭的な生活を送れるよう支援した。自分の空間（居室）ではプライバシーに配慮された自由な時間が確保されること、共有スペースにおいては団欒の時間を楽しむことができることに配慮した。

日中活動では、平日は光陽荘の「生活介護」を利用し、光陽荘入所者と同様の活動を楽しみ、週末や帰宅後は「たんぼぼ」独自の外出やイベントを企画・実施するなど、幅広い活動参加や潤いのある生活を送っていただいている。季節を感じられるジャム作りやバーベキューなどは利用者から大変好評であるし日帰り旅行も喜ばれた。

利用者一人ひとりの支援については、サービス管理責任者が個別支援計画の中で、円満な人間関係、自立や社会参加、笑顔のある日常生活といった視点で目標を立て、世話人や支援員は計画に基にサービスを提供した。

### <各種活動支援>

#### （1）日中活動

散歩・買い物・自立度を高める・趣味を楽しむ・家庭菜園などの支援をした。平日はバックアップ施設である光陽荘生活介護サービスを利用し、作業創作活動・クラブ活動・各種行事等利用者個々人の希望に合わせ参加できるように支援をした。

#### （2）食事

栄養バランスを考え利用者の嗜好も取り入れながら健康的で美味しい食事ができるよう支援した。食事に係る一連の作業に利用者も積極的に加わるよう働きかけた。配膳や盛付だけでなく、玄関前の小さな畑で数種の野菜を育て食材に取り込むなど、食を通して得られる豊かな体験ができるよう考え支援している。

#### （3）健康管理

定期健康診断を光陽荘利用者に合わせて年2回実施した。必要な受診についても付き添い等の支援を行った。なお、歯科検診及び歯科衛生士による口腔ケアについても、光陽荘利用者と同様に行なった。

#### (4) 余暇活動

日々の生活において生きがいをもって豊かに過ごせるよう、余暇の過ごし方を利用者が中心となってつくりあげた。世話人等はこれを積極的に支援した。

また、地域の催し物への参加や、日常的に散歩に出掛けするなどして地域住民との接触に努めた。

#### (5) 災害、防災

ホームスプリンクラー及び自動火災報知設備、インターホーン、非常呼び出しセンサー等の設備に加えて、夜間支援従事者を配置することにより、災害・防災体制の万全を図った。加えて、常に光陽荘との連携を図った。また、地元自治会が実施する地域防災訓練にも参加した。

#### (6) 苦情相談・解決

光陽荘と共通の苦情相談窓口・体制において真摯に対応するとともに、苦情解決第三者委員に対する報告の場を設け助言を受けた。

#### (7) 金銭管理

利用者等から預託された金銭及び各種書類の扱い及び利用者及び家族等への報告等については、光陽荘と同様の取り扱いをした。

#### (8) 夜間支援体制

夜間から早朝にかけて、夜間支援従事者1名を配置した。また、世話人等と協力し夕食・朝食の調理・介助、入浴・排泄の介助、洗濯、居室・衣類等の整理整頓など各種の支援を行なった。

### 第6 特定相談支援事業「光陽荘障害者相談センターすてっぷ」

障害福祉サービスを希望する施設入所者及び在宅障害者の要請に応じて、サービス等利用計画案の作成を行い、定期または随時に計画の評価・見直し（モニタリング）を行った。計画の作成だけでなく、担当利用者の突発的な相談等にも応じ、必要な支援をコーディネートした。在宅の困難ケースについても、随時必要に応じて訪問や担当者会議を開催し在宅生活が円滑に継続できるよう支援した。

また、東遠地区自立支援協議会相談部会に出席し、他の事業所と情報交換をするなど地域の実情や課題についての把握や連携に努めた。

サービス等利用計画案の作成実績は、利用計画案・モニタリング報告書を合わせ前年比6件増である。

#### サービス等利用計画案の作成実績

種 別	平成29年度	平成28年度
サービス等利用計画案	21件	47件
モニタリング報告書(サービス利用計画の見直し)	77件	45件
合計	98件	92件

# 資料編

(平成29年度/平成30年3月31日現在)

## 光 陽 荘

- 1 障害支援区分別利用(入所)者数
- 2 年齢別利用(入所)者数
- 3 利用(入所)者平均年齢
- 4 在所期間別利用(入所)数
- 5 食事介助状況者数
- 6 入浴介助状況者数
- 7 排泄介助状況者数
- 8 面会状況
- 9 帰省(外泊)状況
- 10 入所・退所状況
- 11 苦情受付状況
- 12 他医療機関への受診状況(延人数)
- 13 利用者医療状況
- 14 所在状況
- 15 入所申込み(待機者)状況
- 16 ボランティア(余暇支援)状況
- 17 ボランティア(奉仕)状況
- 18 事故調査状況
- 19 実習状況
- 20 短期入所利用状況 生活介護利用状況
- 21 施設入所利用状況 グループホーム利用状況
- 22 全体的支援の状況
- 23 個別的支援の状況
- 24 行事の状況
- 25 避難防災訓練の状況
- 26 各種専門委員会の状況
- 27 家族会との連携状況
- 28 職員研修状況
- 29 職員被表彰者の状況
- 30 協力医療機関・通院機関の状況

# I. 利用実績

## 1 障害支援区分別利用(入所)者数

光陽荘

(平成30年3月31日現在)

	区分1・2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	0	1	0	20	21
女性	0	1	3	2	23	29
合計	0	1	4	2	43	50
割合(%)	0.0%	2.0%	8.0%	4.0%	86.0%	100.0%
平均障害支援区分	5.74 (男性 5.90 女性 5.74 )					
平成29年度	5.92 (男性 6.00 女性 5.86 )					

たんぽぽ

(平成30年3月31日現在)

	区分1・2	区分3	区分4	区分5	区分6	合計
男性	0	0	0	0	1	1
女性	0	0	0	2	2	4
合計	0	0	0	2	3	5
割合(%)	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	60.0%	100.0%
平均障害支援区分	5.60 (男性 6.00 女性 5.50 )					
平成29年度	5.60 (男性 6.00 女性 5.50 )					

## 2 年齢別利用(入所)者数

光陽荘

(平成30年3月31日現在)

	20歳以下	21歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	51歳～60歳	61歳～64歳	65歳～69歳	70歳以上	80歳以上	合計
男性	0	3	1	6	5	4	0	1	1	21
女性	0	1	3	9	4	5	4	2	1	29
合計	0	4	4	15	9	9	4	3	2	50

(平成29年3月31日現在)

	合計
男性	20
女性	28
合計	48

たんぽぽ

(平成30年3月31日現在)

	20歳以下	21歳～30歳	31歳～40歳	41歳～50歳	51歳～60歳	61歳～64歳	65歳～69歳	70歳以上	80歳以上	合計
男性	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
女性	0	0	0	1	2	0	0	1	0	4
合計	0	0	0	2	2	0	0	1	0	5

(平成29年3月31日現在)

	合計
男性	1
女性	4
合計	5

## 3 利用(入所)者平均年齢

光陽荘

(平成30年3月31日現在)

	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	50.4	26	81
女性	54.3	21	86
合計	52.7		

(平成29年3月31日現在)

	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	50.8	25	80
女性	54.1	20	85
合計	52.7		

たんぽぽ

(平成30年3月31日現在)

	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性(1人)	50.0	50	
女性(4人)	58.3	50	73
合計	56.6		

(平成29年3月31日現在)

	平均年齢	最低年齢	最高年齢
男性	49.0	49	
女性	57.3	49	72
合計	55.6		

## 4 在所期間別利用(入所)数

光陽荘

(平成30年3月31日現在)

	1年未満	1年～5年未満	5年～10年未満	10年～15年未満	15年～20年未満	20年以上	合計	平均在所期間
男性	2	0	5	5	0	9	21	
女性	3	3	3	2	3	15	29	
合計	5	3	8	7	3	24	50	17年2か月

たんぽぽ

(平成30年3月31日現在)

	1年未満	1年～3年未満	3年～5年未満	5年～7年未満	7年～9年未満	9年以上	合計	平均在所期間
男性	0	0	0	0	0	1	1	
女性	0	0	0	1	0	3	4	
合計	0	0	0	1	0	4	5	12年4か月

5 食事介助状況者数

(平成30年3月31日現在)

区分	人数	割合
全面介助者	3	6.0%
一部介助者	45	90.0%
介助なし	2	4.0%

(平成30年3月31日現在)

区分	人数	割合
全面介助者	2	4.2%
一部介助者	46	95.8%
介助なし	0	0.0%

6 入浴介助状況者数

(平成30年3月31日現在)

区分	人数	割合
個浴	12	24.0%
2～3人浴	21	42.0%
中間浴	14	28.0%
寝浴	3	6.0%

(平成30年3月31日現在)

区分	人数	割合
特別浴	1	2.1%
個浴	12	25.0%

7 排泄介助状況者数

(平成30年3月31日現在)

区分	人数	割合
おむつ使用者	3	6.0%
紙ハンズ又はトイレ介助者、 ホータブルトイレ使用者	49	98.0%
見守り	4	8.0%

(平成30年3月31日現在)

区分	人数	割合
おむつ使用者	4	8.3%
紙ハンズ又はトイレ介助者 ホータブルトイレ使用者	40	83.3%
見守り	4	8.3%

8 面会状況

(平成29年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度
人数	44	40	30	48	66	25	78	33	37	8	24	29	462人	393人
1日平均人数	1.5	1.3	1.0	1.5	2.1	0.8	2.5	1.1	1.2	0.3	0.9	0.9	1.3人	1.1人

9 帰省(外泊)状況

(平成29年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度
人数	3	4	2	2	6	1	1	1	11	11	0	0	42人	54人
日数	10	6	0	1	33	0	0	0	27	35	0	0	112日	126日

人数は実人数・日数は不在籍数

10 入所・退所状況

(平成29年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度
入所者数	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5人	1人
退所者数	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	3人	3人
月末在籍者数	50	48	50	50	50	50	50	50	50	49	49	50	596人	595人

## 11 苦情受付状況

### 1) 苦情受付件数

(平成29年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度
苦情受付件数	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	6件	4件

### 2) 苦情の分類一覧

(平成29年度)

苦情の分類	件数
ケアの内容に関わる事項	2
個人の嗜好・選択に関わる事項	0
他の利用者・職員に関わる事項	4
面会者に関わる事項	0
財産管理等に関わる事項	0
施設内規に関する事項	0
その他	0
合計	6件

(平成28年度)

苦情の分類	件数
ケアの内容に関わる事項	1
個人の嗜好・選択に関わる事項	0
他の利用者・職員に関わる事項	1
面会者に関わる事項	0
財産管理等に関わる事項	0
施設内規に関する事項	0
その他	2
合計	4件

## 12 他医療機関への受診状況(延人数)

(平成29年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平成28年度
内科	10	2	2	3	2	7	1	1	4	14	3	2	51人	20人
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人	3人
脳外科	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	2	14人	13人
整形外科	1	0	1	0	1	3	0	0	0	1	1	2	10人	4人
外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	5人	2人
泌尿器科	2	2	1	2	3	2	0	1	2	0	5	2	22人	20人
眼科	1	2	2	2	0	3	0	2	1	1	3	3	20人	27人
皮膚科	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2人	15人
耳鼻科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	5人	13人
歯科	0	0	4	3	5	5	0	4	1	2	6	3	33人	25人
婦人科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1人	5人
消化器科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1人	1人
補装具外来	0	0	3	1	0	1	4	0	0	1	0	0	10人	0人
合計	15人	7人	15人	12人	13人	22人	6人	9人	10人	21人	22人	22人	174人	175人

## 嘱託医による受診(往診)状況(延人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平成28年度
内科	27	20	19	23	23	26	22	59	18	23	7	14	281人	326人
精神科	26	26	27	27	28	28	26	55	28	27	29	29	356人	366人
合計	53人	46人	46人	50人	51人	54人	48人	114人	46人	50人	36人	43人	637人	692人

## 13 入院・処置状況

### 1) 入院状況

(平成29年度)

治療科	人数	治療科	人数	平成28年度
内科	3	泌尿器科		1   0
精神科	1	整形外科		1   0
眼科		口腔外科		0   0
脳外科		神経内科	1	0   0

### 2) 処置状況

(平成30年3月31日現在)

処置状況	人数	処置状況	人数	平成28年度
経口与薬	45	経管栄養	0	41   0
尿カテーテル留置	2	酸素吸入	0	1   0
創傷処置	随時	浣腸、摘便	3	随時   2
軟膏塗布	随時	湿布等(痛み緩和剤)	0	随時   1
点眼	10	点鼻	1	7   0

## 14 所在状況

(平成30年3月31日現在)

市町名	在籍者数	入所・退所状況		平成29年3月31日現在			市町名	在籍者数	入所・退所状況		平成29年3月31日現在		
		入居	退去	在籍者数	入所	退所			在籍者数	入所	退所	在籍者数	入所
下田市	1			1			焼津市	3			3		
南伊豆町	1			1			藤枝市	4			4		
松崎町	1			1			牧之原市	3	1		2		
東伊豆町	1			1			吉田町	1			1		
伊東市	1			1			川根本町	0			0		1
沼津市	2			2			浜松市	5		1	6	1	
三島市	1			1			磐田市	3	1	1	3		
伊豆市	1			1			掛川市	3	2		1		
伊豆の国市	0			0		1	湖西市	1			1		
清水町	0			0			森町	1			1		
御殿場市	2	1		1			神奈川県横須賀市	1			1		
富士宮市	1			1			東京都足立区	1			1		
富士市	1			1		1	岐阜県大野町	1			1		
静岡市	6			6			御前崎市	1			1		
島田市	3		1	4			合計	50人	5人	3人	48人	1人	3人

## 15 入所申込み(待機者)状況

(平成30年3月31日現在)

市区町名	申込者数	平成29年3月31日現在	市区町名	申込者数	平成29年3月31日現在
菊川市	0	1	静岡市清水区	2	1
御前崎市	1	1	静岡市葵区	1	1
磐田市	1	2	掛川市	2	3
浜松市中区	1	1	愛知県岡崎市	1	1
浜松市南区	0	0	神奈川県横須賀市	0	1
浜松市浜北区	1	1			
浜松市天竜区	1	1	合計	11人	14人

## 16 ボランティア(余暇支援)状況 (敬称略)

(平成29年度)

月 日	団体名(代表者名)および個人名	人数	内 容
6月28日	アエル講座合唱団	10名程度	歌の披露
9月22日	もみじの会	20名程度	詩吟・歌披露
11月8日	オカリナ奏者:えんじろう	1名	秋の収穫祭にてオカリナ演奏
11月20日	freeボーカリスト ROKU 他	2名	歌・楽器演奏

## 17 ボランティア(奉仕)状況 (敬称略) (平成29年度)

団体名(代表者名)および個人名	内 容	年間延日数	実人数	活動日
市民・えぷろんの会	もちつき大会手伝い	1	12	5月17日
家族会	施設整備(農園、施設周辺の草取り)	1	26	5月20日
市民	創作活動手伝い	29	2	定期(月2~3回)
市民	縫い物	10	2	定期(月1回)
小学生・中学生 (ボランティア体験)	創作活動・畑作業	7	6	夏休み
市民・元職員・職員の知人	納涼祭模擬店・着付け	1	14	8月26日
家族	焼き芋作り	1	3	11月29日
小学生・中学生 (ボランティア体験)	創作活動	1	2	春休み
家族	施設・農園・畑の作業等	44	5	随時
	合計	95日	72人	

平成28年度 合計
年間日数113日 年間人数 69人

## その他協力者(ボランティア・販売) (敬称略)

団体名(代表者名)および個人名	内容	年間延回数	実人数	活動日
岡田先生	音楽指導・ピアノライブ・イベント参加	44	1	月曜日・イベント時
駄菓子やっこ	駄菓子の販売	10	2	第1水曜日
中村美容室	散髪	21	2	第2・第4月曜日
友の輪商事	車椅子点検・販売	12	1	第2月曜日
草笛	パン納品	12	1	第3月曜日
Mネット東遠	クリーニング	3	3	納涼祭・秋祭り・冬物衣料
点訳サークル泉	点字指導・交流	10	10	第4月曜日
	合計	112人	20人	

## その他協力者(寄付者) (敬称略)

寄付者	寄付金品名	寄付日
家族	リクライニング電動シャワーチェア	9月19日
明るい社会づくり運動菊川地区協議会	タオル 300枚	11月24日
施設職員	ポータブル吸引器	1月10日
静岡県西部視覚障害者親の会	金 100,000円	2月9日
その他の寄付金品	点字カレンダー 他	

## 18 事故調査状況

(平成29年度)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	28年度	
怪我	転倒	0	1	1	0	1	0	2	1	3	1	0	2	12	21	
	転落・滑落	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	2	
	切傷・擦過傷	3	0	3	1	4	1	4	4	4	2	0	0	26	0	
	自傷	0	3	1	5	5	2	0	2	4	5	5	4	36	4	
	骨折・打撲・捻挫・脱臼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	10
	衝突	1	0	0	1	1	1	0	0	1	0	2	0	7	0	
食物	誤嚥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	異食・誤飲	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
薬	誤薬	2	0	1	1	1	0	1	1	1	0	0	0	8	1	
	投薬忘れ	1	1	0	0	2	1	0	4	1	1	0	0	11	9	
	配薬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ケア	爪切り	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	ショート忘れ物	1	3	0	0	0	0	1	1	0	1	0	2	9	8	
物損	私物紛失	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	物損	3	1	1	4	1	2	3	1	0	3	1	2	22	3	
他害	怪我有	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	14	
	怪我無	0	1	0	2	1	2	0	0	0	1	2	0	9	0	
その他		1	0	1	0	2	1	1	1	0	0	0	5	12	64	
合計		12	10	9	15	19	10	13	16	15	14	10	16	159	127	

## 19 実習状況

(平成29年度)

学校名等	実習名	年間延日数	実人数	平成28年度	
静岡福祉大学	介護福祉実習	25	2	20	1
静岡こども福祉専門学校	介護実習	5	3		
静岡歯科衛生士専門学校	臨地実習(歯科衛生士養成課程)	4	2		
浜松大学	臨地実習(管理栄養士養成課程)	0	0		
	合計	34日	7人	20日	1人

## 介護等体験

(平成29年度)

学校名等	実習名	年間延日数	実人数	平成28年度	
岳洋中学	福祉体験	0	0		
焼津高校	職場体験	0	0		
掛川特別支援学校	教育実習	0	0	1	1
	合計	0日	0人	1日	1人

## 20 短期入所利用状況 生活介護利用状況

### 短期入所

(平成29年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度
利用者人数	10	9	12	10	12	9	12	13	10	7	9	10	123人	122人
延べ利用日数	39	45	55	52	61	44	66	61	48	28	33	51	583日	623日
1日平均	1.3	1.5	1.8	1.7	2.0	1.5	2.1	2.0	1.5	0.9	1.2	1.6	1.6人	1.7人
利用率	32.5%	36.3%	45.8%	41.9%	49.2%	36.7%	53.2%	50.8%	38.7%	22.6%	29.5%	41.1%	39.9%	42.7%

### 生活介護

(平成29年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度
利用者人数	65	63	63	65	68	65	66	66	64	63	62	65	775人	769人
延べ利用日数	1,184	1,236	1,220	1,299	1,292	1,239	1,304	1,240	1,268	1,184	1,081	1,274	14,821日	15,001日
1日平均	53.8	53.7	55.5	56.5	56.2	56.3	56.7	56.4	55.1	51.5	54.1	55.4	55.1人	55.8人
利用率	107.6%	107.5%	110.9%	113.0%	112.4%	112.6%	113.4%	112.7%	110.3%	103.0%	108.1%	110.8%	110.2%	111.5%

## 21 施設入所利用状況 グループホーム利用状況

### 施設入所

(平成29年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度
利用者人数	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	600人	597人
延べ利用日数	1,422	1,474	1,474	1,549	1,517	1,495	1,545	1,490	1,502	1,461	1,346	1,511	17,786日	17,932日
1日平均	47.4	47.5	49.1	50.0	48.9	49.8	49.8	49.7	48.5	47.1	48.1	48.7	48.7人	49.1人
利用率	94.8%	95.1%	98.3%	99.9%	97.9%	99.7%	99.7%	99.3%	96.9%	94.3%	96.1%	97.5%	97.5%	98.3%

### グループホーム

(平成29年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平成28年度
利用者人数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60人	60人
延べ利用日数	150	155	150	155	155	150	155	150	155	155	140	155	1,825日	1,824日
1日平均	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0人	5.0人
利用率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.00%	99.95%

## 2.2 全体的支援の状況

### (1) 作業創作活動（工賃を支払う活動）

活動名	内容	活動日	人数
作業・創作活動	洗濯たたみ・畑・エプロン畳み・ゴミ集め・おしぼり作り・作品作り	(月)～(金) 午前中	23人
コーヒー喫茶	コーヒー販売（喫茶店形式）	月1回	5人

### (2) クラブ活動及びその他の活動

クラブ名	内容	活動日	人数
音楽クラブ	パート、曲の練習・ 行事、コンサートへの参加	第1月曜日PM	17人 <small>(主な演奏者10人)</small>
和太鼓クラブ	基本打ちの練習・納涼祭参加・ コンサートへの参加	第1月曜日PM	11人
クッキングクラブ	おやつ・料理・飲み物作り他	第3月曜日PM	25名
スポレククラブ	練習・試合・ゲーム・運動器具活用	第2月曜日PM	全利用者
点字クラブ	点訳サークル泉との交流 点字・平仮名の練習	第4月曜日PM	14人
生花クラブ	花器選び・リース・ フラワーアレンジメント	第5月曜日PM	11人
リラクゼーション	ぽかぽか農園・散歩・音楽鑑賞・朗 読・野菜の収穫	(月)～(金) 午前中	33人
懇談会	行事予定の説明・連絡・話し合い	第4水曜日PM	自由参加 25名程度
買い物・ドライブ	買い物・ドライブ <行先> 菊川市内・掛川・牧之原・島田・御 前崎等	木曜日 午後	全利用者 約15人/回 1人平均 1～2回/月

## 2.3 個別的支援の状況

### (1) 一般外出等

内容	回数	人数
個別支援外出（協力病院以外の通院等）	随時	希望者
散髪（理髪店での散髪希望者）	22便	45人/延

### (2) 希望外出

実施日	プラン名	行先	人数
5月24日	個別支援 腕時計を買う	壬生時計店	1名
5月25日	個別支援 かつぱ寿司	かつぱ寿司菊川店	3名
5月31日	個別支援 回転寿司を食べよう	流れ寿司 菊川店	3名

6月22日	個別支援 レストランさわやかで本格ハンバーグ	さわやか 菊川店	3名
6月26日	個別支援 おひさま食堂で沢山たべるぞ	おひさま食堂（吉田町）	2名
6月28日	個別支援 星のコーヒーにてテイクアウトをする	施設内	2名
7月3日	個別支援 ショッピング&カレー屋さんへLet' Go	アピタ デリー	4名
7月13日	希望外出 温泉&バイキング	時之栖川根温泉ホテル道の駅	10名
7月20日	個別支援 静岡のご当地グルメ旅<<さわやかのハンバーグを食べよう!>>	さわやか 菊川店	4名
7月24日	個別支援 女子カアップの旅	ららぽーと 磐田市	3名
8月17日	個別支援 ラーメン	五味八珍 菊川店	5名
8月24日	個別支援 とんかつを食べに行こう	とんかつ まえだ	3名
8月24日	個別支援 バーベキュー	施設内	10名
8月31日	個別支援 子生まれ温泉	子生まれ温泉	2名
9月11日	希望外出 富士山に会いに行こう!駿河湾ランチクルーズ	エスパルスドリームプラザ・駿河湾フェリー	12名
9月21日	個別支援 おひさま食堂	おひさま食堂（吉田町）	7名
9月27日	希望外出 さわやかのハンバーグを堪能しよう	さわやか 菊川店	4名
10月2日	個別支援 かつぱ寿司でランチ	かつぱ寿司 菊川店	4名
10月12日	希望外出 おしゃれなバイキングでお食事会	浜北n i c o e	8名
10月19日	個別支援 ジョリーパスタでランチ	ジョリーパスタ 掛川店	3名
11月9日	個別支援 好きなネタを選んでゆっくりと食事を堪能する	掛川魚河岸店	5名
11月20日	個別支援 好きなお寿司をお腹いっぱい食べる	菊川魚河岸店	2名
11月27日	個別支援 a u ショップ	a u ショップ 菊川店	1名
11月29日	個別支援 魚河岸寿司と買い物	魚河岸寿司 赤のれんエディオン	1名
11月30日	個別支援 美味しいラーメン・餃子を食べよう	五味八店 菊川店	3名
12月10日	個別支援 故郷大東で食事・買い物・コンサートを楽しむ	掛川市文化会館シオーネ	1名
12月14日	個別支援 カラオケを楽しみながらランチ	コートダジュール（カラオケBOX）	3名
12月13日	個別支援 mini クリスマス会	施設内	1名

(3) 歯科検診・口腔ケア

4月	口腔ケア	37人	10月	口腔ケア	39人
5月	口腔ケア	39人	11月	口腔ケア	39人
6月	口腔ケア	39人	12月	口腔ケア	40人
7月	口腔ケア 歯科検診	39人 55人	1月	口腔ケア	39人
8月	口腔ケア	39人	2月	口腔ケア	39人
9月	口腔ケア	39人	3月	口腔ケア	40人

2.4 行事の状況

(1) 光陽荘・たんぽぽ

4月	お花見（小菊荘）・春の健康診断・家族会役員会 総会・リネン交換 たんぽぽ開設記念日祝13周年
5月	菖蒲湯・端午の節句・もちつき大会・家族会役員会 整備作業（奉仕活動） 清松園開園際（和太鼓出演）
6月	昼食バイキング・歯科検診・アエル講座合唱団の皆様歌の披露 県知事選挙不在者投票（たんぽぽ菊川市役所/光陽荘会議室）
7月	光陽荘開設記念日祝27周年・七夕・消防署による心肺蘇生講習
8月	納涼祭 くさぶえ夏の祭典（創作出店）・くさぶえ夏の祭典（創作出店）
9月	総合防災訓練・千寿の園敬老会（バンド・ドロップス演奏） 詩吟 歌の披露（もみじの会の皆様）・牧之原音楽マラソン（バンド・ドロップス出演）
10月	運動会・菊川市祭典・潮海寺焼きそば祭り
11月	秋の健康診断・東遠まつり（和太鼓 光 出演/創作出店）・焼き芋大会 収穫祭（芋煮&ミニコンサート）・菊川産業祭ODORA座2017（創作出店） Free ボーカリストROKU様（歌楽器演奏披露）・普通救命講習
12月	たんぽぽ地域防災訓練参加（おまつり広場）・障害者週間カレー作り・床ガラス等 年末清掃・ゆず湯・クリスマス会
1月	新年祝賀会・七草粥
2月	節分・バレンタインデー
3月	雛まつり・ホワイトデー・家族会役員会・スポレク大会 報恩時糺迦菜（創作出店）
毎月	懇談会・喫茶・駄菓子販売・パン販売・散髪・法人内施設販売（納品） 掛川市役所創作販売『よってっ亭/菊川市堀之内報恩寺糺迦菜』

(2) たんぽぽ独自の活動

4月	たんぽぽ開設記念日12周年・草餅づくり・たんぽぽミーティング 春を味わう（わらび採りをして調理）
5月	菖蒲湯・苺ジャムづくり・たんぽぽミーティング
6月	らっきょう漬けづくり・苺ジャムづくり・たんぽぽミーティング
7月	餃子パーティー・たんぽぽミーティング

8月	たんぽぽミーティング
9月	たんぽぽミーティング
10月	日帰り旅行（掛川パスポートを利用しよう）・菊川市祭典見学・たんぽぽミーティング
12月	忘年会・たんぽぽミーティング
1月	たんぽぽミーティング
2月	たんぽぽミーティング
3月	草餅つき・たんぽぽミーティング

(3) 選択食・行事食の提供

	選択食内容	その他 行事食
4月	さしみ ホタテ入りシューマイ (24日)	赤飯 (昭和の日)
5月	魚の南蛮風タルタルソース 豚の味噌漬け焼き (31日)	ちらし 柏餅 (端午の節句) もちつき大会
6月	エビフライ とりつくねの温玉添え (28日)	昼食バイキング
7月	カレーラーメン サンマーメン (28日)	開設記念日 七夕そうめん
8月	たらとときのこのチリソース いわしの梅シソフライ (23日)	やきそば おでん フランクフルト (納涼祭) すいとん (終戦記念日)
9月	さけのポテト焼き チンジャオロース (15日)	アレンジコッペパンを食べよう
10月	酢豚 さけのとろろ焼き (30日)	握り寿司 (秋祭り)
11月	ラーメン選択食 (14日)	
12月	ローストチキン ミートローフ 魚のグラタン (20日)	カレー作り (障害者週間) 年越しそば
1月	さけ親子丼 ビビンバ丼 (25日)	おせち 雑煮 (正月) 七草がゆ
2月	鮭の揚げおろしいくら添え チキンと野菜のトマト煮 (23日)	太巻き (節分)
3月	魚のアーモンド揚げ とりにくのさっぱり煮 (30日)	ちらし寿司 (ひなまつり) 握り寿司 (寿司バイキング)

その他、誕生日・職員からのリクエスト食を随時、給食委託業者シダックスによる季節メニューも随時あり。

## 2.5 避難防災訓練の状況

	内 容
4月	担当職員による年間計画等打ち合わせ・防災点検

5月	防災倉庫内清掃整備・防災点検
6月	夜間火災想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
7月	救急救命講習（消防署員による心肺蘇生、AED取り扱い指導）・防災点検
8月	通報訓練・防災倉庫備蓄品整備・防災点検
9月	総合訓練（地震予知非常呼び出し訓練・日中地震火災想定避難誘導訓練、自主防災隊活動）・防災用品、非常食説明・防災設備取扱・防災点検
10月	夜間火災想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
11月	福祉施設防災の日（日中地震火災想定避難誘導訓練・自主防災隊活動）・防災設備取扱・防災点検・消防署員による防火指導
12月	夜間想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
1月	夜間想定避難誘導訓練・防災設備取扱・防災点検
2月	通報訓練・防災点検
3月	非常時連絡伝達訓練・防災点検

## 2.6 各種委員会の状況

委員会名		
衛生委員会		
リスクマネジメント	職員研修（全体）	あい通信（施設広報誌）
身体拘束解消	新人職員研修	施設整備・備品点検
虐待防止	チューター	防災
感染症対策	処遇向上（介護職員勉強会）	身だしなみ・清潔
懇談会		

## 2.7 家族会との連携の状況

	内容
4月	家族会総会及び互助会全体会・第1回役員会
5月	施設整備事業（ぼかぼか農園・施設周辺草取り）・第2回役員会
8月	納涼祭・第3回役員会
10月	全国盲重複障害者福祉施設協議会参加
10月	運動会
11月	秋の収穫祭
11月	焼き芋大会
12月	第4回役員会
3月	第5回役員会

## 2.8 職員研修状況

主催・研修先	研修名
全国身体障害者施設協議会	研究大会・経営セミナー
東海北陸地区ブロック	研究大会・ケアガイドライン普及研修会
福祉サービス検討委員会	年3回定例

全国盲重複障害者福祉施設研究協議会	研究大会・運営委員会及び施設長セミナー・職員研修会（糸賀一雄の福祉の思想に学ぶ）
東遠地区施設連絡会	施設見学・職員研修（3回）・先進地見学研修・保健福祉研修会・発達障害児者向け研修会
静岡県社会福祉協議会	リスクマネジメント研修・アングラ - マネジメント講座・接遇、マナー、コミュニケーション講座・介護技術講座基礎編・急変を見逃さないための救急講座・生活場面から見る利用者の身体観察のポイント・認知症の人に寄り添うプロの介護セミナー・介護技術講座実践編・介護職が知っておきたい高齢者の褥瘡、皮膚ケア講座・認知症のBPSDを考えるセミナー・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程中堅職員コース・感染症講座（中級編）・福祉職場のストレスマネジメント講座・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程チームリーダーコース・福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程初任者コース
静岡県	強度行動障害支援者養成研修・福祉施設の防犯体制強化対策セミナー・障害者虐待防止、権利擁護研修・障害福祉サービス事業者説明会・社会福祉施設等職員防災研修会
静岡県給食協会	給食協会総会・給食協会見学研修・事例研究発表会
菊川市消防署	心肺蘇生法講習（救急隊来荘）
菊川市社会福祉協議会	福祉施設等ボランティア担当者会
その他	「土砂災害警戒区域」等の指定及び説明会・病院施設連絡会・さくらい歯科主催研修会
施設内研修	盲重複障害者の理解および支援について・アイマスク体験
経理・事務関係	経理研修・監事研修・菊川東中学校キャリア教育・就職フェア・経営協セミナー・労働局説明会
職員の資質向上、スキルアップ及び制度に対する理解、把握のために各種研修に積極的に参加、施設内研修の充実に努めた。	

## 29 職員被表彰者の状況

団体名	種類	人数
全国身体障害者施設協議会	永年勤続表彰 15年	2名
東海北陸身体障害者施設協議会	永年勤続表彰 15年	3名
静岡県社会福祉協議会会長表彰	社会福祉功労者県社協会長表彰 15年	1名
全国盲重複障害者福祉施設協議会	永年勤続表彰 10年	1名
菊川市社会福祉協議会会長表彰	社会福祉功労者市社協会長表彰 10年	1名

## 30 協力医療機関・通院機関の状況

区分	医師名（所属）・病院名
嘱託医（内科）	笹山可則医師（掛川東病院）
嘱託医（精神科）	野島秀哲医師（岡本クリニック）

協力医療機関	菊川市立総合病院・甲賀歯科医院
産業医	笹山可則医師（掛川東病院）
通院機関	菊川市立総合病院・中東遠総合医療センター・菊川眼科・御前崎病院・あかっちクリニック・甲賀歯科・加藤歯科・杉原脳外科・くにお皮膚科・石崎耳鼻科・うちだクリニック・森クリニック・菊川整形外科等・塩崎クリニック